

第115号

2019年4月30日発行
発行
社会福祉法人 栄光園
別府市南荘園町3組
〒874-0904 電話 (23) 2827
振込口座 01930-2-20748
編集 広報誌編集委員会
印刷 大野印刷株式会社
別府市青山1-7 電話 (21) 0505

神様は愛する者を訓練される



社会福祉法人栄光園
理事長
江口 敏一

栄光園は「神様を愛し、自分を愛するように隣り人を愛することで神様の栄光を表す」とに由来して1950年に財団法人を設立し、1952年より、乳児院・児童養護施設で子どもたちを受け入れ、事業を開始しました。その後、1976年に定員90名の青山保育所を、2007年に定員60名の野口保育所を別府市より受託し、4ヶ所の施設で子どもたち200余名、職員100余名の施設となり、今年で事業開始後67年目になります。乳児院や養護施設は発足当初は全く育てる親のいない孤児の養育でしたが、今ではほとんどの子どもに実の親がいるにもかかわらず、養育が困難な状況が生じて、施設利用をせざるを得ない状況が生じております。また、その子どもたちの約半数は何らかの障害をかかえており、高度な養育の専門性が求められております。このような状況の中で、3年前に児童福祉法の大改正がありました。法改正の主眼

は、児童が権利の主体であることで、理念が明確にされたと言われております。なぜ、権利の主体であるかの説明が出来ていないのです。キリスト教の理念、人は神様が愛するためには作られた傑作(被造物)であることが権利の主体である根拠と説明すれば容易であると思っております。

また、この改正の中で、子どもは家庭環境で育てられるべきであり、それが不可能な場合は限りなく家庭的な環境を整えるべきである。その養育環境としてパーマネンシー(永続性)が求められ、この点から、出来得る限り、里親委託を進めるべきである。その割合は、未就学児の場合で75%、就学児であっても50%の里親委託率を確保するようにと求められたのです。子どもたちにとっては家庭復帰こそ望むところではありますが、親の家庭形成の再構築や環境の改善より、里親委託の方が容易との考えかと思われまます。施設は、養育の困難

な子どもたちに対して、養育の高機能化・多機能化・機能転換による変革が求められています。

これらの計画について、昨年度中に各施設は大分県との協議を終え、本年度中に県としての10か年計画策定し、公表することになっております。

一方、2017年4月より社会福祉法人制度が変革され、私は、栄光全体に対する責任を負う立場になりました。60有余年の創立の理念に基づく栄光園の歴史を次世代に引き継ぐ大役を担うには、いささか力量不足は否めませんが、神様の導きを信じて取り組む以外にその方法を見いだせません。いつも法人運営の拙さを露呈しておりますが、直面する多くの課題は、神様のご計画の範囲であり、困難に直面する時、神様が私たちを愛し、訓練されているとの理解で多くの課題を乗り越えなければなりません。法人の理念を創立者の血筋で繋げない限り、良き後継者を探し、育てることも大きな課題です。

これに加えて、栄光園の喫緊の課題は、野口保育所、青山保育所の老朽建物改築と乳児院や児童養護施設の小規模かつ高機能化及び多機能化・機能転換の求めに際することです。特に、児童養護施設は小規模化を進めてきていますが、乳児院は大分県唯一ということもあり、高機能化・多機能化・機能転換による変革が求められています。今回の計画の策定での要点は、周産期の妊婦への対応、出産直後からの親子への対応、親や里親を含めた切れ目のない支援による従来への対処療法的対応から予防的に対応へと取り組むことができるようになることです。

これは大きな前進です。

一方、社会福祉法人制度改革の大きなボ

イントの一つは、法人としての地域貢献です。さいわい、三菱電機様が、児童養護施設の各ホームに電気炊飯器の寄贈と合わせて、科学教室のお話をいただきました。早速、地域の町内会の協力を得て、地域交流の形で科学教室を開くことができました。今後、毎月開催とし、スポーツ交流や子ども食堂の開始で展開できることを願っております。青山、野口の保育所もあるわけですから、学童保育のニーズもあると考えております。

子どもたちの居場所づくりからはじめて、高齢者・障得者も含めた富山方式(多様なニーズに何でも対応する福祉の取り組み)を始めることができればと夢は膨らみます。

グレースホームの集い

栄光園を巣立った卒園生、栄光園を支援して下さる皆様、そして生活している子ども達の集いとして

「パーベキューの夕べ」を本年度は、
8月4日(日)17時より園庭にて開催します。

お気軽においでください。

事前に電話をいただければ助かります。もちろん参加費は無料です。お志等も固く辞退させていただいております。

連絡先 栄光園 TEL.0977-23-2827 別府市南荘園町3組

所長就任あいさつ

2019年度は各施設の施設長が
変わりました。ご紹介します。



児童養護施設
施設長
岡田 豊弘

「起こることをすべてを難儀なことと思え
ても喜んで受け入れよ」
マルクス・アウレリウスが『自省録』の中
で、語った一文を胸に留めながら、今年度
より施設長という大きな存在に挑み始め
ました。

一番驚き戸惑っているのは、子どもたち
のようです。「岡兄(おかにい)と入職以来
呼ばれていましたので。

さて、子どもたちの笑顔を安心材料にし
ながら、かなり急ピッチで施設の小規模化
を進めてまいりました。重篤な課題を抱え
た子どもの入所や高年齢児が増える現状
がある一方で、人材確保、育成の問題や働
き方改革も含め、施設の小規模化や地域分
散化の実践はより難しくなっています。今
一度振り返り、養育のあり方を問いなが
ら、「子どものしあわせのために」前に進ん
でまいります。

栄光園は創立67年目を迎えました。67年
という歩みは、創立者の人生を懸けた戦い
と情熱と志から始まり、支えてきた職員や
支援者の方々の願いや祈りによって今も
なお続いております。そのことを考えます
と、責任の重大さを痛感いたしました。皆
様のご期待に応えるべく専心努力する所
存でございます。前任者と同様格別のご
指導・鞭撻を賜りますようお願い申し
上げます。



乳児院
施設長
江口 敏一

児童養護施設を岡田豊弘施設長に託し、
乳児院長に就任いたしました。大分県では
唯一の乳児院です。唯一であるからこそ乳
児のための乳幼児の施設として日本一を
目指し、世界に通用する施設を目指さなけ
ばなりません。さいわい、今回の児童福祉法
の改正では、高機能化・多機能化・機能転換
による変革が求められ、周産期の妊婦への
対応、出産直後からの親子への対応、親や里
親を含めた切れ目のない支援による、従来
とは異なる予防的な対応へと取り組む姿勢
が求められるようになったことです。

子どもが施設に措置されなくても済む、
地域にあつて親子揃って成長できる家庭形
成の支援ができることは大きな喜びです。
もちろん、施設滞在中は家庭に近い環境で
生活していただきますが、施設利用について
は、行政・医療機関・里親・ボランティア、地
域の方々と連携して、施設の改築も含めて、
親子支援を鋭意進めてまいりたいと思っ
ております。よろしくご指導・ご支援賜り
たく存じます。



青山保育所
所長
本庄 智宏

12年間施設長として勤めてまいりました野
口保育所から、今年度より、青山保育所の施
設長を拝任いたしました。野口保育所に勤務
していた際には、多大なご協力とご支援を
いただきましたことに感謝申し上げます。
青山保育所は、私が新卒で就職した場所



野口保育所
所長
工藤 直子

桜の花が舞い散る中、2019年度がス
タートいたしました。
4月より野口保育所の所長を務めさせて
いただくことになり、責務の重さを感じる
と共に身の引き締まる思いです。

子どもたちにとって楽しい毎日が送れる
ように、保護者にとつて安心して預けられ
る保育所であるように、また地域の中の保
育園として交流を広げていけるように職員
一丸となつて日々の保育を励んでまいり
たいと思っております。

これまで社会福祉法人栄光園の野口保
育所を築きあげてきた前園長の思いや、栄
光園としてキリスト教の愛と真に基づき、互
いに思いやりを持って心豊かに生活でき
るように、子ども・保護者・地域社会を支援
することを目指して励んでいきたいと思
います。



青山保育所
保育士
荒金 由妃

新任者あいさつ

未熟者ではありますが、よろしく願
い致します。

今年度4月から青山保育所で働くこと
になりました荒金由妃です。短大を卒業した
ばかりで不安な気持ちも多いですが、子ども
が大好き、遊ぶことが大好きという気持ち
と、保育者であるというを自覚しながら日々
成長していきたいと思っております。

実際に働き始めて、子どものことで思い悩
んだり、自分の不甲斐なさに落ち込んだり
と苦悩する日々ですが、いつか悩んだからこ
そ成長できたと思えるように日々の保育を精
一杯頑張りたいと思います。そして、保護者
の方々にとつても安心していただけるような
保育士になりたいと思っております。

未熟な私ですが、私の思い描く保育士像に
少しでも近づけるよう頑張ります。これか
らよろしく願います。



児童養護施設
児童指導員
三ヶ尻 圭

はじめまして、4月より栄光園の児童養
護施設に勤めることになりました三ヶ尻
圭です。大学時代に児童を対象とした人形
劇や紙芝居などを行ったことをきっかけ
に児童支援の分野に関心を高め、前職では
児童保育に携わっておりました。
現在はまだまだ慣れないことも多く、戸

所長就任あいさつ

2019年度は各施設の施設長が
変わりました。ご紹介します。



乳児院
保育士
石川 由衣

「起こることをすべてを難儀なことと思え
ても喜んで受け入れよ」
マルクス・アウレリウスが『自省録』の中
で、語った一文を胸に留めながら、今年度
より施設長という大きな存在に挑み始め
ました。

一番驚き戸惑っているのは、子どもたち
のようです。「岡兄(おかにい)と入職以来
呼ばれていましたので。

さて、子どもたちの笑顔を安心材料にし
ながら、かなり急ピッチで施設の小規模化
を進めてまいりました。重篤な課題を抱え
た子どもの入所や高年齢児が増える現状
がある一方で、人材確保、育成の問題や働
き方改革も含め、施設の小規模化や地域分
散化の実践はより難しくなっています。今
一度振り返り、養育のあり方を問いなが
ら、「子どものしあわせのために」前に進ん
でまいります。

栄光園は創立67年目を迎えました。67年
という歩みは、創立者の人生を懸けた戦い
と情熱と志から始まり、支えてきた職員や
支援者の方々の願いや祈りによって今も
なお続いております。そのことを考えます
と、責任の重大さを痛感いたしました。皆
様のご期待に応えるべく専心努力する所
存でございます。前任者と同様格別のご
指導・鞭撻を賜りますようお願い申し
上げます。



乳児院
保育士
石川 由衣

惑うことも多いですが栄光園の子どもた
ちの元気な姿や先輩職員の方に励まされ、
日々学びながら過ごしております。一日も
早く子どもたちのことを知り、私のことを
知ってもらい子どもたちの生活に馴染ん
でいけるように努めていきたいと思っ
ています。栄光園で過ごす子どもたちが一日
一日を大切に感じる事が出来るよう家
庭的な生活を作りだすことが出来るよう
尽力していきたいと思えます。

未熟な点もまだまだ多くあるかと思
いますが、子どもたちと共に成長してい
けるように頑張りますのでご指導・ご鞭撻
よろしく願います。

4月に入職した石川由衣です。私は去年の
8月に乳児院で実習をさせていただきました。
実習は10日間という短い間でしたが、子
どもたちが成長していく姿を見てとても感動
しました。そこから、子どもたちの成長をも
っと近くで見守りたいと思うようになり、
乳児院に就職しました。

配属クラスがうさぎ組に決まり、まだまだ
不慣れではありますが、職員の方々の丁寧
な教えのもと、子どもたちと一緒に成長し
ていきたいです。

そして、キリスト教精神の中にある隣人愛
や、一つの出会いを大切にできる保育者
になれるよう、日々努力していこうと思
います。



乳児院
保育士
勝見 裕妃

みなさん初めまして。
乳児院(りすグループ)で4月から勤め始



ホーム長
宮崎 洋子

児童養護施設を岡田豊弘施設長に託し、
乳児院長に就任いたしました。大分県では
唯一の乳児院です。唯一であるからこそ乳
児のための乳幼児の施設として日本一を
目指し、世界に通用する施設を目指さなけ
ばなりません。さいわい、今回の児童福祉法
の改正では、高機能化・多機能化・機能転換
による変革が求められ、周産期の妊婦への
対応、出産直後からの親子への対応、親や里
親を含めた切れ目のない支援による、従来
とは異なる予防的な対応へと取り組む姿勢
が求められるようになったことです。

子どもが施設に措置されなくても済む、
地域にあつて親子揃って成長できる家庭形
成の支援ができることは大きな喜びです。
もちろん、施設滞在中は家庭に近い環境で
生活していただきますが、施設利用について
は、行政・医療機関・里親・ボランティア、地
域の方々と連携して、施設の改築も含めて、
親子支援を鋭意進めてまいりたいと思っ
ております。よろしくご指導・ご支援賜り
たく存じます。

12年間施設長として勤めてまいりました野
口保育所から、今年度より、青山保育所の施
設長を拝任いたしました。野口保育所に勤務
していた際には、多大なご協力とご支援を
いただきましたことに感謝申し上げます。
青山保育所は、私が新卒で就職した場所



乳児院
調理士
福永 和子

4月から乳児院で調理の仕事をさせて頂
くことになりました福永和子です。
今まで調理の仕事の経験はありません。新
しいことへの挑戦に日々奮闘しながら、ど
こからともなく聞こえてくる子どもたちの声
に元気をもらっています。

今までの知識を活かし新しいことも吸収
し、私自身も子どもたちのように成長して
いけるように頑張っていきたいと思
います。

めることになりました勝見裕妃と申しま
す。地元はこの別府です。
趣味は温泉地に行き温泉を巡ること、失
敗もしますがお菓子作りをすること、旅行
に行つていろんな景色を見たりすること
です。家には猫を二匹飼っています。
春に短大を卒業したばかりで、まだまだ
保育者として未熟者です。子どもたちにた
くさんの愛情を注いでいけるよう、先輩方
にご指導いただきながら努めて参りたい
と思っております。よろしく願います。



乳児院
調理士
福永 和子

めることになりました勝見裕妃と申しま
す。地元はこの別府です。
趣味は温泉地に行き温泉を巡ること、失
敗もしますがお菓子作りをすること、旅行
に行つていろんな景色を見たりすること
です。家には猫を二匹飼っています。
春に短大を卒業したばかりで、まだまだ
保育者として未熟者です。子どもたちにた
くさんの愛情を注いでいけるよう、先輩方
にご指導いただきながら努めて参りたい
と思っております。よろしく願います。

児童養護施設

キャサリンホーム



ホーム長 宮崎 洋子

「性の勉強会」への取り組み

キャサリンホームは、現在小学生男子
2名・中学生男子3名計5名で生活して
おります。2017年度よりホーム独自

あり、保育の基礎を学び、私の保育観を確立
した場所でもあります。その青山保育所にま
たお世話になることに、胸が高鳴る思いと同
時に、これまで45年間の歴史ある伝統をし
っかりと引き継ぎたいという新たな気持
ちに身が引き締まる思いです。子どもたちが
今何を思い、何を必要としているのか、一人
ひとりの気持ちに寄り添いながら、きめ細か
な保育を実施し、保護者の皆さまには、安心
して預けられる保育所の機能はもとより、子
育ての困りや悩みを気軽に相談できる体制
をこれまで以上に整えてまいります。

また、職員一人ひとりがやりがいのある職
場として、専門性が発揮できるよう、働きや
すい環境を整えていきたいと考えています。ど
うぞこれからも職員一同よろしく願いた
います。

子どもたちにとって楽しい毎日が送れる
ように、保護者にとつて安心して預けられ
る保育所であるように、また地域の中の保
育園として交流を広げていけるように職員
一丸となつて日々の保育を励んでまいり
たいと思っております。

これまで社会福祉法人栄光園の野口保
育所を築きあげてきた前園長の思いや、栄
光園としてキリスト教の愛と真に基づき、互
いに思いやりを持って心豊かに生活でき
るように、子ども・保護者・地域社会を支援
することを目指して励んでいきたいと思
います。

これまで社会福祉法人栄光園の野口保
育所を築きあげてきた前園長の思いや、栄
光園としてキリスト教の愛と真に基づき、互
いに思いやりを持って心豊かに生活でき
るように、子ども・保護者・地域社会を支援
することを目指して励んでいきたいと思
います。

子どもたちの成長を目的に、性について
の正しい知識を教えることの
重要性を改めて感じています。性につ
いての悩みやトラブルは大人になるにつれ、
いつか必ずぶつかるものだと思います。
そんな時、子どもたちがキャサリンホ
ームで学んだ時間を思い出してくれたら嬉
しいです。

子どもたちの成長を目的に、性について
の正しい知識を教えることの
重要性を改めて感じています。性につ
いての悩みやトラブルは大人になるにつれ、
いつか必ずぶつかるものだと思います。
そんな時、子どもたちがキャサリンホ
ームで学んだ時間を思い出してくれたら嬉
しいです。

子どもたちの成長を目的に、性について
の正しい知識を教えることの
重要性を改めて感じています。性につ
いての悩みやトラブルは大人になるにつれ、
いつか必ずぶつかるものだと思います。
そんな時、子どもたちがキャサリンホ
ームで学んだ時間を思い出してくれたら嬉
しいです。

子どもたちの成長を目的に、性について
の正しい知識を教えることの
重要性を改めて感じています。性につ
いての悩みやトラブルは大人になるにつれ、
いつか必ずぶつかるものだと思います。
そんな時、子どもたちがキャサリンホ
ームで学んだ時間を思い出してくれたら嬉
しいです。

ウェストホーム



ホーム長 大野 将也

生活の主体者は子どもです

今年度ウェストホームは高校3年生3
名、高校2年生2名、高校1年生2名の
計7名で、全員が高校生男児のホーム編
成となりました。

新任者あいさつ



青山保育所
保育士
荒金 由妃

未熟者ではありますが、よろしく願
い致します。

今年度4月から青山保育所で働くこと
になりました荒金由妃です。短大を卒業した
ばかりで不安な気持ちも多いですが、子ども
が大好き、遊ぶことが大好きという気持ち
と、保育者であるというを自覚しながら日々
成長していきたいと思っております。

実際に働き始めて、子どものことで思い悩
んだり、自分の不甲斐なさに落ち込んだり
と苦悩する日々ですが、いつか悩んだからこ
そ成長できたと思えるように日々の保育を精
一杯頑張りたいと思います。そして、保護者
の方々にとつても安心していただけるような
保育士になりたいと思っております。

未熟な私ですが、私の思い描く保育士像に
少しでも近づけるよう頑張ります。これか
らよろしく願います。



児童養護施設
児童指導員
三ヶ尻 圭

はじめまして、4月より栄光園の児童養
護施設に勤めることになりました三ヶ尻
圭です。大学時代に児童を対象とした人形
劇や紙芝居などを行ったことをきっかけ
に児童支援の分野に関心を高め、前職では
児童保育に携わっておりました。
現在はまだまだ慣れないことも多く、戸

ウェストホームでは毎月子どもと職員が
集まって行う話し合い「ホーム定例会」を
こなしていますが、その中で子どもたちに
今年度の抱負を尋ねてみると、「就職の内定を
もらえるように頑張る」と答える高校3年
生、「欠点を取らないように勉強を頑張るま
す」と答えていた高校2年生。また、別の子
は「部活で良い記録が出せるように頑張
りたい」と答えたりと、それぞれの子どもが
しっかりと決めて2019年度を迎えるこ
とが出来ました。

今年度からはホーム児童が全員高校生と
なったため、職員側でも支援の在り方を見
直し、自分の事は自分でやる事が出来る
よう、自立に向けた支援に力を入れて取り
組んでいこうと思っております。その中で
2016年度からおこなっているホーム定
例会は今後も継続し、職員からの意見でな
く子ども同士の意見を活発に出しあえる場
となり、子どもが生活の主体者として意識
を持つことが出来るようにしていきたいで
す。

子どもが生活の主体者として意識
を持つことが出来るようにしていきたいで
す。

子どもが生活の主体者として意識
を持つことが出来るようにしていきたいで
す。

ムラカミホーム



児童指導員 横大路 明子

個性を尊重した子育て

ムラカミホームでは、昨年春より別施
設から1名高学年の女児を迎え、小学生
女児3名、幼児2名の計6名と職員と共
に1年間あたためたかみのあるホームを目標
に、生活を創ってまいりました。

私が担当することになった新入所の高学年の女児との1年は想像を超える大変さでした。入所後6月頃より、徐々に様子が変わり、さまざまな課題や行動が出てきました。学校や園から黙って逃走してしまうこと、続く学校からの早退の日々。自傷行為、食事を拒む姿、物に当たる行為など様々です。子どもの『大人の愛情を確認したい』という、言葉や想いも理解しつつ、適切な距離感を持ち、子どもと共に、どのような行動が適切かを身につけていく時間となりました。

また、専門性ある対応が求められる中、かかりつけの医療機関、学校、児童相談所、園内の専門職、ホーム職員はもちろん、ホーム外のたくさんの職員とのあたたかみのある、多くの連携がありました。それらを通して、心身の状態も安定している日が増え、成長する変化の喜びは大きいものでした。今後もこのように、個性を尊重した子育てを、他機関他職種と連携して支援していきたいです。

マツモトホーム

ホーム長 竹原 史雅
**進学する子どもについて
 ～2名の受験生～**

2018年度は公立高校1名と支援学校高等部1名の受験生がいました。毎週学習塾に約1年間通った子どもも、『何もなくても受かる』と受験勉強をあまりしないマイペースな子どもが同じ生活スペースに居るため、職員としても複雑な気持ちでした。

受験日が近づくにつれ、緊張感が増す

子どもたちと共に職員の心配も増えて、受験当日、緊張を隠せないままの子どもたちを受験会場に送り出しました。帰って来た2名の受験生は、可もなく不可もなくという表情でした。最悪の状況も頭を過りましたが信じて祈ることしか出来ませんでした。合格発表当日、受験番号があったと連絡があった時には一気に肩の力が抜けました。

今後も、子どもたちの将来の夢に向かい、色々な経験や体験を通して、しっかりと進んでいけるよう支援していけたらと考えています。

オコウホーム

保育士 後藤 真平
ピカピカの一年生

私は、前年度より就学を控えた児童を担当してまいりました。本人は、先天的な疾患を持っており、就学先の選定に際し施設内で慎重に協議を重ね、就学相談会や学校との話し合いでも多くの皆様に助言を頂き、不安がある中ではありますが、地域の小学校への入学を決めました。

まだまだ先の話ではありますが社会に出た時のことをイメージしながら、将来にどのような繋げていくかが大きな課題です。人間関係、学習面、体調面など心配な点を挙げる時がありませんが、本人が、今後困難に直面した際に、対処できるスキルを身に付けていけるよう職員で協力し、学校の先生方とも連携を図りながら精一杯サポートしていきたいと考えています。

4月からは、ピカピカの一年生です。

2019年度がスタートしました。これから毎日の保育や行事を通して、かけがえない思い出をたくさん作ってもらいたいと思います。

それでは2～3月の行事の様子をお伝えします。

保育園に鬼が来ました！

豆まきの日が近づくにつれ「そろそろおにがくる？」と不安そうにしていた子どもたち。当日を迎え、鬼にびっくりしながらも鬼とタッチを交わす姿に驚きました！鬼たちとぞう組のお友だちの相撲対決を見た後は、いよいよ豆まきです。

鬼が近づくと保育士やお友だちの後ろに隠れて逃げた様子や、怖がることなく勇敢に豆を投げる子など様々な姿が見られました。給食でも鬼の顔の豆まきランチをペロッと食べて見事な鬼退治。これでしっかりと邪気を払い、今年一年を元気に過ごせることと思えます！



鬼の顔の豆まきランチをペロッと食べて見事な鬼退治。これでしっかりと邪気を払い、今年一年を元気に過ごせることと思えます！

頑張ったね！発表会！

2月16日に行われた発表会。当日の朝はお家の方と離れる際に泣いてしまう姿も見られましたが、控室では保育士や友だちとおしゃべりしたり、絵本を読んでもらったりして落ち着いて出番を待つことができました。中には衣装を身につけ

たくさんのお友だちと一緒に楽しい学校生活を送ってほしいと願っています。

ノマチホーム

保育士 帆秋 堅太
進学支援を行って

春の心地よい風が吹き抜ける中、進路決定の時期を迎えました。ノマチホームで私が担当している高3、中3の2人とも希望の進路を叶え、4月からは、新しいキャンパスライフのスタートです。その中で理学療法士を目指して専門学校進学を選んだ児童がいます。この児童は、高校1年次より「安定した職につきたい」という目標をもって高校3年間学業と部活の両立に励んでまいりました。

進学の話が進むにつれて、色々な課題が見えてきました。1つ目は学費についてです。学費については早い段階から職業指導員と連携をとり給付型の奨学金について調べ7つの給付型の奨学金に申し込み、その中のいくつかの奨学金の給付が決定しました。

そして、足りない学費については日本学生機構の貸与型を利用するようになり、児童と相談を行いながら貸与の金額を決めたり、返済計画を立てたりする中で、学費がどのくらいかかるかなど学べるよい機会になりました。

2つ目は生活場所です。生活場所については、児童の中では1人暮らしをしながら学校に通いたいという気持ちもあつたようですが、児童・園の職員で検討を重ね、生活の負担を考えた結果措置延長を選びました。施設としても、ホームと

ると大きな鏡で自分の姿をチェックする余裕のある子どももいました。

いざ、舞台上立つと日頃の練習時の姿を發揮する子どももいれば、たくさんのお客に固まってしまったり、お家の人を一生懸命に探す子どもも、様々な姿が見られました。

ひとつの大きな行事を乗り越えた子どもたち。今後もさらなる成長、子どもたちの自信に繋がれるような保育をしていきたいと思えます。



どんなところかな？小学校

ぞうぐみ2年生が2グループに分かれて南立石小学校と境川小学校の体験入学に行ってきました。この日まで子どもたちは憧れの小学校へ行くことをとても楽しみにしていました。教室では、机に向かって座り、1年生のお兄さんお姉さんたちと一緒に

しても児童の将来の夢を実現できるように卒園後もアフターケアを行っていききたいと思えます。

乳児院

乳児院は、3月に6人の子どもたちが退所しましたが、4月から新しい子どもたちが入所し、賑やかにになりました。

日々、子どもたちの健やかな成長を目の当たりにすると、私たち職員は「子どもたちの安全と幸せを守るために」支援しなければならぬことをより強く、より深く認識し、養育に取り組んでいかなければと思います。

新しいお部屋にお引越し

4月1日からうさぎ組の子どもたちはぞう組へ、りす組の子どもたちはうさぎ組へそれぞれ生活をする部屋が変わりました。朝食後に職員と一緒に新しい部屋に入り直しましたが、子どもたちは目新しいおもちゃや、部屋にある物を触ってみました。のぞいてみたりしていました。

初めのうちは、前の部屋に間違えて戻ろうとした子もいましたが、日にちが経つにつれて、間違わなくなりました。

新しい部屋になっても、子どもたちが安心して過ごしやすい環境を整えていきたいと思えます。

笑顔がいっぱい

朝、出勤をしてくると、窓から子どもたちがのぞいていて、ニコニコしながら手を振ってくれます。「今日は少ししんどいな」という日でも、その笑顔を見た瞬間に元気が湧いてきます。また赤ちゃ

に名前を書いたりして楽しみました。実際に小学校へ行き、子どもたちの中で「小学校とはどんなところなのか」「お兄さんお姉さんかのように過ごしているのか」などを知ることが出来て、少しでも見通しが持てたのではないのでしょうか。帰りには緊張も和らぎ、「小学校楽しかった！」「嬉しそうなお姿が見られ、進学することへの期待がより膨らんだように感じました。



スイートポテトをつくったよ

さつまいもを使って、ぞうぐみでは「スイートポテト」を作りました！焼き芋は、おやつで食べる機会がありますが、いつもとは違うおやつに興味津々。エプロンの身支度もだいぶ手馴れてきました。



そのもの！自分たちの納得のいく形に仕上がると、「できたあー！」と嬉しそうな表情です。おいしく焼き上がった「スイートポテト」は午後のおやつにみんなでお食べしました。

卒園おめでとう

3月23日に栄光園ホールにて平成30年度卒園式がありました。たくさんのお家

青山保育所

青山保育所は、4月より新しく6名のお友だちが入園し、78名のお友だちと



の方にも参加していただき、26名が青山保育所を卒業していただきました。卒園証書授与では、証書を受け取る表情に、これまでの保育所生活の積み重ねを経て、とてもたくましく感じられました。幼稚園、小学校でもたくさんの友だちと楽しい思い出を作ってほしいです。



野口保育所

2019年度が始まりました。今年度は職員配置や異動などがありいつもとは違う年度開始となります。
職員一同、身を引き締め資質向上を目指し子どもたちが安全で楽しい保育が出来るように励みたいと思います。
今年度もよろしくお願い致します。少しづつですが前年度の2月からの行事の様子をお伝えします。

まめまき

今年の豆まきのテーマは「鬼と仲良くなる」でした。毎年怖い鬼に泣いて豆を投げるといことが主流だったので、「心の優しい鬼もいる」と、心の優しさは逃げないよう「しよう」とテーマを決めました。



ひなまつり会

今年のひな祭り会では、就学児がお雛様とお内裏様を作って環境を飾ってくれた。



ました。全クラスのお雛様も飾り、とても華やかな雰囲気のお祭り会でした。お昼のひな祭りランチも全クラスで一緒に食べ、楽しい思い出になりました。

お昼ご飯は給食の先生にお弁当にもらい全クラスみんなで一緒に食べ、大きいクラスの子どもたちは好きなクラスの場所に行つて食べ、思い出がまた一つ増えたようでした。

卒園式

3月30日には野口保育所の卒園式が行われました。今年15名の子どもたちが元気いっぱい野口保育所を巣立って行きました。子どもたちがこの場所でも元気に頑張ることを願って応援したいと思います。また12年間所長を務めていただいた園長先生も青山保育所へ異動になりました。12年間ありがとうございました。



「心の貧しい人々は幸いです」

「心が豊かであることは一般的には「よいこと」であると思われています。しかし、タイトルの聖書の言葉が語るのとは、こうした常識的な用法とは異なる心の世界のことです。
たとえば心というものを「容器」のようなものだと考えてみましょう。心という容器のなかに「入れておくことができるもの」の「量」は限られています。
この容器が「将来への心配」や「友達や近い人に対する恨み」などによって満ち溢れていたら、どうでしょうか。心はいろいろなものに

よって「満ちて」いますが、それでは「他のもの」が入ってくる「余地」がありません。
右のようなネガティブなものだけでなく、たとえ「自分の夢を実現することへの願い」によつて心という容器が満ち溢れているとしても、同じように新しく心になにかを受け入れる「余地」はなくなりません。
心がこういつた「なにか」に満ち溢れていると、「受けとめること」がなくなってしまう。「が」いろいろとあるのではないのでしょうか。心がなにかに占められていけば、ニュースで

悲惨な事件の様子が流れてきても、そこで苦しんでいる人のことはほとんど考えたりしません。目の前に悩みを持っている人がいても、その人のことを心に留めることもありません。「自分のこと」で心がいっぱいだからです。
イエスキリストは「心の貧しい人々は幸いです」と言われました。
心に「余地」を持っている人は、目の前の人の悩み、足元に咲いている花、与えられている生活の安らぎの尊さ、自分を愛してくださる神の存在にも気づくことができます。心に「余地」を持つことで開ける人生があることを聖書は教えてくれています。

集いの場「くるみ」がオープンします

現在の格差社会の中で住民の孤立化、児童虐待など問題を抱えている家庭を取り巻く地域の重要性が叫ばれています。
栄光園も昭和27年にこの地域で生まれ育てていただいた施設として、温かい地域づくりの一翼を担うことができると、地域の子どもたちや住民の皆様が集う場として「くるみ」を開設することとしました。くるみでは「現代版子ども会」のように子どもたちといろいろな活動をしていき、地域の大人と一緒に有意義な時間を過ごして

みつびしでんき科学教室

三菱電機が全国各地で取り組んでいる子ども向けの科学教室を三菱電機様のご協力により本園で開催することとなりました。

この「子ども向けの科学教室」は、産業界の優れた教育支援活動をたたえる経済産業省の「第8回キャリア教育アワード」の奨励賞に選ばれました。子どもへの科離れが叫ばれて久しい中で、科学への関心を育もうと2009年に開始されたものです。総合電機メーカーとして蓄積された様々な技術を活用して科学への関心を育み、教科書だけでは分りづらいことも、実用化した技術を取り上げ、楽しく体験して興味を持ってもらいたいという取り組みです。
当日は、地域の子どもたちと一緒に「光の三原色」や「熱の伝わり方」について実



験や工作をしていながら学ぶことができました。学びの場を提供して下さった三菱電機の方々がとうございました。



2019年度 1月～4月1日 社会福祉法人 栄光園 職員の採用・退職・異動

- 4月 新規任命
 - 〈児童養護施設〉 岡田 豊弘 (施設長)
 - 〈乳児院〉 江口 敏一 (施設長)
 - 〈青山保育所〉 本庄 智宏 (所長)
 - 〈野口保育所〉 工藤 直子 (所長)
 - 〈児童養護施設〉 藤内 貴章
 - (総主任兼家庭支援専門相談員)
 - 〈野口保育所〉 渡邊 智美 (主任保育士)
 - 〈乳児院〉 得能 三志郎 (総括グループリーダー)
 - 〈児童養護施設〉 原田 康子 (職業指導員兼地域支援員)
- 4月 新規採用
 - 〈児童養護施設〉 三ヶ尻 圭 (児童指導員)
 - 〈乳児院〉 石川 由衣 (保育士)
 - 勝見 裕妃 (保育士 短時間)
 - 福永 和子 (調理員等)
 - 〈青山保育所〉 荒金 由妃 (保育士)
- 4月 異動
 - 〈児童養護施設〉 豊島 央 (保育士)
 - 〈青山保育所〉 有永 奈津美 (保育士)
 - 〈野口保育所〉 二宮 香織 (保育士)

栄光園のご支援者

ご支援ありがとうございます。

栄光園は多くの皆様の継続した温かい思いによって支えられてきたことを心から感謝いたしております。皆様のこのよな思いは、子どもたちの成長に、また、働く私たち職員のお励みに大変大きな力となっていることをいつも嬉しく思います。

この支援の核になっているのが「賛助会」です。現在、松本小児科医院の理事長で院長でもあらわれ、現在嘱託医として栄光園を支えていただいております松本重孝先生が賛助会の会長をお引き受けいただいております。全く感謝であります。

世代を超えて栄光園をお支えいただいております皆様の上に神様の豊かな祝福がありますようお願いいたします。

【2019年1月1日より2019年3月31日まで】

賛助金

- 安部道人様 大分市
- 岩田哲也様 大分市
- 小郷晶子様 別府市
- 金谷正明様 大分市
- 木村洋子様 大分市
- 首藤和子様 熊本市
- 田原明紀様 白杵市
- 津田眞吾様 大分市
- 日本基督教団門司大里教会様 北九州市
- 平野紀美代様 別府市
- 帆足和生様 別府市
- 山口産業(株)様 別府市
- 愛隣幼稚園様 大分市
- 浅海重子様 西条市
- いろは商事(株)様 別府市
- 後藤みどり様 別府市
- 真愛幼稚園様 別府市

一般寄付

- 匿名様 別府市
- 匿名様 大分市
- 日本基督教団大分教会様 福岡市
- 日本基督教団福岡中部教会様 別府市
- 別府野口教会様 大分市
- 豊和銀行従業員組合様 大分市

自立進学資金

- 愛隣幼稚園様 大分市
- 安東秀典様 大分市
- 梶原康弘様 大分市
- 辛島陽子様 別府市
- 堤峰子様 国東市
- 匿名様 別府市
- 日笠公子様 大分市

特別物品寄付

- 小学1年生鉛筆 明石文昭堂様
- 遺言公正証書 浅海重子様
- 桜4本 安部純子・小野・三浦様
- 文具・衣類 上原博文様
- 日本史マンガ等書籍 大分安長塾様
- 手作りカバン・新小学1年生用 大原智子様
- 桜祭り食券 倍楽園様
- 恵方巻き 割烹鮨「幸喜屋」様
- 抜粋のつづり5冊 (株)クマヒラ大分営業所様
- 菓子 (株)東海レジャーキャロル様
- 菓子 (株)ユーコー中村雄二様
- キックボード 亀川放課後児童クラブ様
- パン・ボン菓子 辛島陽子様
- 絵本・カルピス カルピスひな祭りプレゼント事務局様
- ネーブル 木付弘子様
- 衣類 隈井賀子様
- パン ココラート様
- タオル 後藤真里子様
- 菓子 ダイヤモンドグループ(株)様

浴室工事

- タカラスタンダード様
- 衣類 中村耕吉様
- 洗剤・文具 中村里子様
- 菓子 中山田正春様
- 人参・菜の花 二宮洋典(株)九州錦運輸様
- 鉛筆箱ティッシュ パッケージプラザ都留様
- あんこ 恒久妙子・日名子あつこ様
- 本文具 平山様
- リュック・水筒 別府中央ライオンズクラブ様
- 食器 松本重孝様
- 炊飯器・除湿機・掃除機

- 三菱電機(株)九州支店様
- 年度カレンダー みらい信金荘園支店様
- タオル 村瀬久美子様
- チョコレート (株)ダスカジャパンクアウテモック様
- 衣類・菓子 若林優子様
- ギフト券 匿名様

招待・奉仕

- 小中学習ボランティア 安東秀典・井上せつ子・木本直美・山口香様
- 英会話クラブ SBI子ども希望財団様
- ピアノレッスン 奥山靖子様
- 書道 荒金節子様
- スピードラーニング APUキャサリン様
- 児童の散髪 Kヘアー様
- 金曜学校 齊藤真行・庄司宣充・吉武二郎様
- スポーツボランティア ティム・ディック様
- 食事招待 大鍛治光子様
- 餅つき
- 南荘園町自治会・野口哲男市議会議員・白風会様
- コンサート招待 ハーモニアス別府様

賛助会員募集

年会費、一口千円、但し、何口でも、分割可。
ご連絡いただければ職員が参上します。栄光園賛助会事務所は、別府市南荘園町3組です。
賛助会員の皆様には、栄光園の広報誌「栄光園だより」を送付させていただきます。



苦情等相談窓口

*法人および各施設での苦情等は下記の連絡先へご相談ください。
tel.0977-23-2827
fax.0977-23-7520
mail eikoen@live.jp

編集後記

今回初めて「栄光園だより」の編集に携わらせていただきました。子どもたちの様子、社会福祉法人栄光園の取り組みなど皆様にお伝えすることが出来るよう努めていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

お気づきになった点などありましたらお知らせくださると助かります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

(原田)

